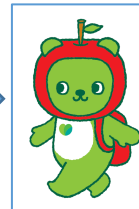





大阪Reportレポート



長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 33 (2025. 2. 4)

長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

関西の今<トピックス>

- <2025年大阪・関西万博>万博開幕まであと2か月 <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・全国知事会が万博会場の視察を行い、21府県の知事・副知事が夢洲を訪れた（長野県からは関西副知事が参加）。シンボルの「大屋根リンク」に登り、「大阪ヘルスケアパビリオン」「関西パビリオン」なども視察、バス停留所の屋根に採用されたペロブスカイトの説明なども受け、準備状況を確認した。
 - ・「並ばない万博」を目指し、前売り入場券購入者を対象としたパビリオン入館やイベント観覧が予約できる抽選の受け付けが開幕3か月前の1月13日から始まった。各国や企業のパビリオンの一部や「EXPOアリーナ」で開催される人気歌手A doさんの開幕ライブ等のイベントが対象、予約は来場日時の3か月前から2か月前の前日まで受け付け、抽選結果は個別に通知される。
- <観光> 2024年訪日客数も消費額も過去最大を更新
 - ・2024年の訪日客は3686.9万人、消費額も8兆1,395億円で、いずれも過去最高となった。韓国が881万人、中国が698万人、台湾が604万人の順、中東や東南アジアからの訪日も増加した。関西国際空港の外国人旅客数も1,892万人（関西エアポート調べ）、大阪府の訪日客も1463.9万人（大阪観光局調べ）とそれぞれコロナ禍前を大幅に上回り、過去最高となった。
 - ・京都市が宿泊者に1人1泊当たり200～1,000円を課している宿泊税を、5段階で最高1万円（1泊10万円以上の場合）まで引き上げる方針を発表。交通インフラやオーバーツーリズム対策などの充実を図る考え。
- <産業・経済その他話題> 阪神大震災から30年
 - ・2025年の関西（2府4県）の実質経済成長率は万博開催やインバウンドの増加などで、全国を上回るとの試算を民間シンクタンクが相次いで公表、関西の景気は総じて堅調に推移する見通し。
 - ・大阪メトロが自動運転バスや空飛ぶクルマなどの次世代交通の体験テーマパーク「イーメトロ・モビリティ・タウン」を森之宮に開業、未来の交通をリアルとバーチャルの両面で体験できる。
 - ・阪神大震災から30年となり各地で追悼行事が行われた。当時、全国から100万人を超すボランティアが被災地に入り、「ボランティア元年」という言葉も生まれ、復興の原動力となった。震災の犠牲者の鎮魂から始まった光の祭典「ルミナリエ」が神戸で開催、静かに祈りの鐘が鳴り響いた。

大阪での取り組みの今

最近の取り組みを紹介

- 「楽園信州移住セミナー」(1/27: シティプラザ大阪)
 - ➡ 「冬の上質な過ごし方～寒さと雪と住宅と～」をテーマに信州くらしの魅力伝えるセミナーと個別相談会を開催、13組20名が参加、断熱のペアガラスや薪風呂に自分でリフォームして住んでいる先輩移住者の話や県宅地建物取引業協会からは家の探し方、市町村は上田市・小諸市・茅野市・松川町・箕輪町が参加してプレゼン、個別相談を実施。



●「地方就職・移住応援フェア～もうひとつのふるさとを探そう～」(1/31：ハローワーク梅田)

➡ハローワークプラザ難波主催イベントに長野県も参加。地方就職や移住に興味関心のある方に向けた長野県・山形県・富山県・三重県・鳥取県・徳島県の各担当からの事例紹介やPRなどの移住応援セミナーと個別相談を実施、各地域の魅力発見ワークショップも開催、長野県は喬木村が参加して、伝統工芸品「阿島傘」に見立てたミニチュア和傘作り体験を実施。全体で予約だけでも36名が参加、長野県ブースやワークショップも賑わった。



●「イナコレ～いなか暮らし collection～」(2/1：シティプラザ大阪)

➡大阪ふるさと暮らし情報センター主催、入退場自由で移住やいなか暮らしに関する地域の魅力をお届けするイベント。長野県を含む18県がブース出展、長野県からは千曲市・安曇野市・岡谷市・辰野町も参加、129組174名の方が来場し、長野県のブースには24組の相談があった。



【西日本開催の話題】

<全国都道府県対抗駅伝競走大会>

(<女子> 1/12：京都市京都陸上競技場 <男子> 1/19：広島市平和記念公園前 スタート)

～全国都道府県対抗駅伝が2週にわたり開催、女子は5位入賞、男子は新記録で4連覇・11回目の優勝、県人会の皆さんをはじめとした沿道の応援も熱かった。～



<近畿県人会定期総会・新年懇親会> (1/26：ホテルグランヴィア大阪)

～近畿長野県人会の総会と新年懇親会が133名の参加者で盛大に開催。

会の最後には「信濃の国」を6番まで熱唱。県人会は出身者や信州に想いを寄せ長野県を応援してくれる個人法人の交流組織で、駅伝や高校野球の応援、関西での観光物産展などのイベントへの協力等、事務所との連携もさらに充実。



【トピックス】「おいでやす！長野県ゆかりの飲食店 関西版」を公開

来たる「関西・大阪万博」開催を捉え、営業局が中心となって取りまとめていた「おいでやす！長野県ゆかりの飲食店 関西版」が公開されました。

おいでやす！ 長野県ゆかりの飲食店



URL <https://sites.google.com/view/shinshufood-kansai/>

長野県とゆかりのある関西圏（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県）の飲食店113店舗を紹介、魅力あふれるお店に是非お出かけください。

【長野県ゆかりのポイント】

<信州料理> 長野県ならではの料理（郷土料理など）を提供しているお店

<信州食材> 長野県の食材を使い、料理を提供しているお店

<信州お酒> 長野県の日本酒やワインなどを提供しているお店

<信州出身> 創業者や店主等が長野県出身などのお店

<信州人集> 長野県出身の方などが集い、交流しているお店

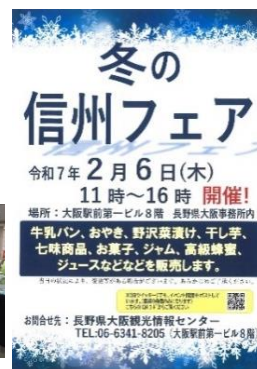
<信州歴史> 歴史・由来などで長野県とゆかりがあるお店

「長野県ゆかりの飲食店」情報は引き続き随時募集していますので、掲載サイトの応募フォームより情報をお寄せください。

今後の観光物産展・イベント等の予定

★「冬の信州フェア」(2/6：大阪観光情報センター内)

～信州の定番となった大人気の各種「牛乳パン」やおやき、野沢菜漬け、お菓子、リンゴジュースなどの特産品、アルクマグッズなどを販売、併せてウインターシーズンの信州観光と観光情報センターをPR～



★「日本列島心のふるさと観光展」(2/7-21：JR北新地駅みちまちスクウェア)

～在阪事務所が協働してPRコーナーに出展、ウインターシーズン真っ盛りの信州の魅力をポスターとパンフレットでPR～



★「神戸空港開港19周年記念イベント」

(2/15-16: 神戸ハーバーランド umie)

～信州まつもと空港との直行便が就航している神戸空港の開港19周年を記念したイベントに出展、信州の観光物産展やステージイベントなどでFDA神戸松本便や信州への旅をPR、アルクマも登場～



★「信州いいやま物産フェア」

(2/21-22: 天神橋筋2丁目商店街 南森町駅 上 いこいの広場)

～飯山市主催、大阪市・飯山市姉妹提携50周年記念事業として、飯山市の物産や観光をPR。買い物や観光客で賑わう商店街で、ブナシメジやナメコなどのきのこ各種、米どころ自慢のコシヒカリ、野沢菜漬、信州そば、かりんとうなどの特産品を販売、PRキャラクター「雪ん子」も登場～



★「信濃町PRイベント」

(2/23-24: 天神橋筋2丁目商店街 南森町駅 上 いこいの広場)

～信濃町主催、信濃町の半生そばなどの特産品販売や観光コンテンツのPR。えんめい茶の試供品の配付、黒姫高原や野尻湖などの観光PRパンフレットの配付など展開

★「ぱん&スイーツまつり+in ららぽーと門真」

(2/28-3/1: 門真市 ららぽーと門真1Fセンターコート)

～話題のパンやスイーツが集結、各地のふるさとスイーツや名産品を販売するコーナーや観光PRなど、長野県も出展、ご当地パンとして大人気の各種「牛乳パン」や特産品を販売、アルクマも駆けつける予定～

★「南信州まつかわ町ファーマーズマルシェ」

(3/7-8: 天神橋筋2丁目商店街 南森町駅 上 いこいの広場)

～生産者の皆さんによる松川町が誇る超希少りんご「ピンクレディー®」や農家が醸造したクラフトシードル、砂糖不使用のドライフルーツ、干し柿、ジュースなど特産品の販売PR～



